

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成30年4月26日 (2018.4.26)

【公開番号】特開2017-93380(P2017-93380A)

【公開日】平成29年6月1日 (2017.6.1)

【年通号数】公開・登録公報2017-020

【出願番号】特願2015-230538(P2015-230538)

【国際特許分類】

C 1 2 N	1/20	(2006.01)
A 2 3 L	31/00	(2016.01)
A 2 3 L	33/00	(2016.01)
A 6 1 K	35/744	(2015.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 K	36/45	(2006.01)
A 6 1 P	1/10	(2006.01)
A 6 1 K	8/99	(2017.01)
A 6 1 Q	11/00	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	1/20	A
A 2 3 L	1/28	
A 2 3 L	1/29	
A 6 1 K	35/744	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 K	36/45	
A 6 1 P	1/10	
A 6 1 K	8/99	
A 6 1 Q	11/00	

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月19日 (2018.3.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ラクトコッカス・ラクティス T 2 1 ( N I T E B P - 0 2 1 6 4 ) 株。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の菌株を含む飲食品。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の菌株を含む錠剤。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

すなわち、本願第一の発明は、クランベリー由来の免疫調節作用を有するラクトコッカス属菌であり、より詳細には、ラクトコッカス・ラクティスT21株（NITE BP-02164）である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

さらに、本願出願人は、当該乳酸菌を含む飲食品も意図している。すなわち、本願第二の発明は、ラクトコッカス・ラクティスT21株（NITE BP-02164）を含有する飲食品である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

以下、本発明を詳細に説明する。

#### 1. ラクトコッカス・ラクティスT21株（NITE BP-02164）

本発明の乳酸菌は、ラクトコッカス・ラクティス（*Lactococcus lactis*）である。特にラクトコッカス・ラクティスに属する乳酸菌のうち、ラクトコッカス・ラクティスT21株である。本発明にいうT21の記号は日清食品ホールディングス株式会社で独自に菌株に付与した番号である。本ラクトコッカス・ラクティスT21株はクランベリーより本発明者の一人によって初めて分離されたものである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明のラクトコッカス・ラクティスT21株は、下記の条件で寄託されている。

（1）寄託機関名：独立行政法人製品技術基盤機構 特許微生物寄託センター

（2）連絡先：〒292-0818 千葉県木更津市かずさ鎌足2-5-8 122号室

（3）受託番号：NITE BP-02164

（4）識別のための表示：T21

（5）原寄託日：2015年11月20日

（6）ブダペスト条約に基づく寄託への移管日：2016年10月12日

本発明のラクトコッカス・ラクティスT21株の菌学的性質は、以下の表1及び2に示す通りである。本菌学的性質は、Bergey's manual of systematic bacteriology Vol.2(1986)に記載の方法による。